

# 敬老のつどい

十月九日(日) 装い新たに西浦和小で五年ぶりに行われました。当日は雨のため出席を見合わせた方もいたようですが、式典につづき地元の人達によるアトラクションで、皆、拍手喝さい大喜びでした。



元気よく叩く、田島太鼓の子供たち



敬老のつどいボランティアの皆様ありがとうございました。

九月十七日(土) 新開小にて初開催。運営にあたっては、地域自治会のご協力を頂きました。式典につづき、新開小金管バンドとハーモニカ合奏のアトラクションが行われました。

土合地区社協は行政からの委託を受けて毎年敬老会事業を実施しています。第一支部では、平成二十一年から開催場所を土合公民館から土合小学校体育館に、また今年からは土合小学校及び新開小学校体育館の2ヶ所に分散行いました。第二支部では二十二年までは田島公民館で行っていましたが、増加人数を収容できず、しばらく記念品の配布のみとなっていました。しかし、今年か

ら西浦和小学校の体育館での敬老会開催となりました。さらに第三支部では栄和公民館で行っていました。が、二十七年はプラザウエストのさくら草ホールに移動しました。しかし、そこもいっぱいとなり今年には記念品の配布のみとなっています。どの地域も大勢の人数を収容する施設が近隣にないことが課題となっています。今後も、地域の特徴にあわせて対応を考えていきます。

## 土合地区の敬老会事業について



### 地域福祉講座

## 認知症サポーター養成講座

＝認知症を正しく理解し、見守るための応援者になろう＝



11/24土合公民館講座室にて、土合公民館との共催で『認知症サポーター養成講座』が行われました。この時期には珍しく初雪が降り足元が悪く当初は出席率を心配しましたが、用意された座席がほぼ満席となり、参加者の皆さんの認知症に対する関心の高さが伺われました。桜区高齢介護課の講師の先生による認知症についての講話のほか、実際に福祉の現場で働いている方々の寸劇などがあり、楽しみながら学べる大変わかりやすい講座でした。終了後、サポーター証とオレンジリングを頂きました。

## なかまほいく

今回は春と秋を担当したスタッフの声です

はじめは扉の前で嫌がって中に入れないお子さんがいたり、母子とも緊張した面持ちでしたが、回を重ねるにつれ、「は～い」と出席確認の返事が元々ようになっていきました。リフレッシュタイムでお子さんを預け、ママたちだけでお喋りしつつ、藤編みのコースターやクリスマスリースなどの作製中に泣き声が聞こえると「うちの子かしら…」と離れて不安になるのはママたちも一緒でした。リフレッシュタイム後に再会して抱き合う姿は親子の絆が感じられます。なかまほいく名物の元気体操はお子さん達の可愛い動きに毎回ほっこりしています。 《馬場崎聖子》



2017年の募集は Facebook をご覧ください。

## ご協力ありがとうございます

### 歳末たすけあい運動

皆さまのご協力のもと、下記の金額が集まりました。

**1,763,021円**

(12月15日現在)

### 編集後記

土合社協の職があちこちのイベント会場にお目見えするようになりまさに旗揚げ公演を思わせています。本誌「域」とともに地域に根を張り始めた兆しでもあり誠に喜ばしいことです。イメキャラ「つつちー」も知名度アップで大喜びです。

《広報部長 田村良明》

